

# 岩木川ダム 統管だより

029号  
2019年  
9月30日



## 虹の湖ロックフェスティバル2019

令和元年8月18日（日）、黒石市の“浅瀬石川ダム虹の湖公園ふれあい広場”野外ステージにて、『虹の湖ロックフェスティバル2019』が開催されました。今年で7回目の開催となるこのミュージックフェスティバルは、通称『虹ロック』と呼ばれ多くの人に親しまれています。

今年も、県内外で活躍するアーティスト全20組が会場を盛り上げました。会場は、音楽とアーティストの物販、野外フェスには欠かせないフェス飯や地元で活躍する作家のクラフト店で大いに賑わっていました。

弘前市を拠点に全国で活躍しているメロディックバンド『6thMAN』のギターボーカル、(さ)しょーやさんは、「全国各所にライブで足を運んでいます、野外でのステージは初めてでした。この広大な会場で普段見たことのない人たちにまで6thMANの音楽が届いて欲しい、と気持ちよく歌うことが出来ました。」と感想を話していました。

主催者側の、「会場を借りた時より綺麗にして返したい」というアナウンスに感銘を受けると同時に、ダムサイトの有効な利活用に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

来場者プレゼントの『うちわ』と『ステッカー』



津軽ダム貯水池内集落の現地回想と感謝の集い



平成12年撮影 砂子瀬・川原平地区

令和元年8月20日（火）、津軽ダムの立地村である西目屋村の協力の下、津軽ダムの建設事業のために先祖伝来の土地を提供してくださった元地権者の代表者5名を招き『津軽ダム貯水池内集落の現地回想と感謝の集い』を開催しました。

この集いは、今年の少雨の影響でダム湖の水位が低下し貯水池内にある集落跡地が姿を見せたことから企画され、津軽ダム建設によって恩恵にあずかるダム下流地区利水関係者の生の声を紹介して元住民に感謝を伝えることを目的に開催しました。当日は、集落跡地を訪問し、当時の生業の様子や生活の知恵、地区の伝統行事などの回想をしていただき、参加した元住民の方々は感慨深げに当時を懐かしんでいました。

現地訪問後、関和典西目屋村長、元住民の皆様および当事務所職員で意見交換を行い、それぞれの思いが語られました。参加者の畠山勉さんは、ダム湖畔に位置し昭和54年に惜しまれながらも閉山した尾太鉱山の最盛期に勤務されていた当時を思い出し、「思い出が走馬燈のように頭の中をぐるぐる巡って、懐かしさでいっぱいになった。」と話しました。また現在、西目屋村の観光ガイド协会会长を務める工藤茂樹さんは、「17、8年ぶりにダム湖の中を歩いて、年をとって初めてこういう思いになるのかという気持ちになった。白神山地が世界自然遺産になる過程で、下流の方々から支援を受けた。ダムが完成して結果的に下流の方々が恩恵を受けたことにより、恩返しが出来て良かった。」と語っていました。

当事務所の長内所長は、「これからも色々な機会を見つけて、この地を去られた方に対して“昔の様子を訪ねてみませんか？”ということをやっていくべきだと感じた。砂子瀬・川原平という地域はダム事業によって水没はしましたが、皆様の心の中の思い出は決して沈まないと思う。出来るだけ早い時期にまたこのような機会を設けたい。」と述べました。



▲意見交換会の様子



▲資料を使って当時の様子を説明する畠山さん



▲西目屋村 関村長



▲自宅跡地に立つ元住民の三上さん



▲集落跡地(砂子瀬地区)を懐かしむ畠山さんと工藤さん



津軽ダムイメージキャラクター  
ペッカー君



# 現場レポート第4弾

～津軽ダム・取水塔内部へ潜入!!～



●日時：令和元年8月14日（水）  
●天気：晴れ  
今回は期間業務職員の対馬がりレポートしました！



▲今回の舞台はこちら！  
取水塔内部からレポートします！

今回は、津軽ダムの制水ゲート操作に同行させていただきました。現場から対馬がりレポートします！

この取水塔はダム湖から水を取り入れるための施設で、ここで取り入れられた水は水力発電や水道用水、工業・農業用水、河川環境の保全に利用されます。取水するための制水ゲートには6段の多重式ゲートが採用されており、下流の環境に適した水温層を選択して取水することができます。なんと！この6段の多重式ゲート、国内でも数カ所しかなく津軽ダムが東北で一番大きいそうです！

さっそく、操作室に入り大きな歯車のついたゲートを動かす機械に圧倒されました。こんなに大きいのに水位が11cm変化するとゲートの位置を自動で変えてくれる繊細さも兼ね備えていると聞き、本当に驚きでした。また、冬期に水面下5メートルでプロペラを回し結氷して取水できなくなる事を防止する装置やダム湖の濁度などの水質を測る機械も見せていただき、色々な機械で細やかに管理されているのだと大変感心しました。

ついに、ゲートの内側へ！水面を確認できる位置まで恐る恐る垂直の梯子を降ります。水面を確認！大きなゲート、水の音、水流で揺れるワイヤー、全てにワクワクが止まりません！

ゲートを目の前にし、どのように動くのかが気になりました。ゲートには2つのピンがついており、そのピンが引っかかることでゲートをあげることができるかと教えていただきました。

この日は、水位に合わせてゲートを50cm下げる必要があるということで実際にゲートが動くところを見せていただきました。きっと大きな音がする…そう思っていたのですが、意外にも大きな音はせず会話も成り立つほど静かでした。ゲートは1分間に30cmほど動くということで約1分半大きなゲートが動くところを間近で見ることができました。私自身、ダム好きを語っておりましたが、まだまだダムは奥深く知らないことが沢山興味深いと心から思いました。

入職から約1ヶ月半で、巡視船の管理運転への同行やゲート操作へ同行など普通では出来ない大変貴重な体験をさせていただき、感謝の1日となりました！



▲ゲート操作室です。今回も、岩淵安全対策官に説明をしていただきました。



▲ゲートを動かす歯車はこんなに大きい！



▲この日は5番目のゲートまで上がっていました。



▲ここから取水ゲート内部へ



▲ワイヤーが水流で揺れていました



▲目の前で下がるゲートに興奮！

# 非常時に備えて ～TEC-FORCE研修を実施～

令和元年8月29日（木）、岩木川ダム統管理事務所でTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）装備品を活用した写真撮影や移動軌跡の取得及びDiMAPS（総合防災情報システム）登録訓練を実施しました。

この訓練は、位置情報付き写真データなどをウェブ上に集約することで、被害情報をより分かりやすく把握・共有できるシステムを多くの職員に操作、習熟させることを目的に実施しました。

当日は、実施内容の確認とDiMAPSの概要や活用例、使用方法が説明されたのち実際にGPS付きデジタルカメラを使用し、データを登録するという一連の操作をおこないました。本格的な台風シーズンを前に、多くの職員が操作を会得し、防災・減災への意識を高めていました。



▲TEC-FORCE任命者が参加しました



▲参加者全員が操作を行いました

## ●TEC-FORCE（テック・フォース）とは

TEC-FORCE（Technical Emergency Control FORCE）とは、国土交通省「緊急災害対策派遣隊」の通称。

大規模自然災害が発生または発生する恐れがある場合に、地方公共団体等の要請に基づいて、被災状況の迅速な把握、二次被害の発生・拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に行うことを活動目的として、2008年4月に創設されました。

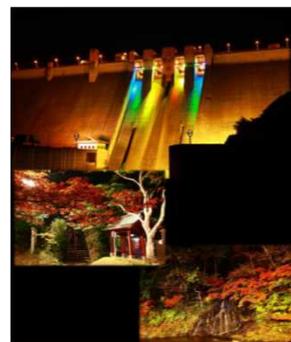
隊員は、災害対応を経験・日々現場で技術の研鑽を積む職員など全国の各地方整備局等の職員が選出され、活動しています。

## 秋のライトアップ告知

浅瀬石川ダム・津軽ダムでは今年も秋の紅葉シーズンと合わせて“秋のライトアップ”を実施予定です！！実施期間・時間は決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。

（右下のQRコードからホームページをCHECK！）

※災害が発生または発生する恐れがある場合  
ライトアップを中止する場合があります



▲【浅瀬石川ダムと中野もみじ山】

▼【津軽ダム 天端と堤体】



●岩木川ダム統管理事務所ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

## 編集後記

朝晩の寒暖差も大きくなり、すっかり秋めいた季節となりました。1年の中で最も過ごしやすく一番好きな季節です。これから徐々に世界自然遺産白神山地の木々も色づきはじめ、10月中旬から下旬頃には津軽ダム周辺も紅葉が見頃になります。浅瀬石川ダム周辺も、みちのくの小京都と名高い「中野もみじ山」の紅葉も最盛期を迎えます。両ダムでは、その時期に合わせてライトアップを実施します。空気が澄み、紅葉とライトアップのコラボレーションに加え、天気にも恵まれ、運が良ければ満点の星空の中に“天の川”も見ることができのかもしれない。秋本番、皆様のお越しを是非お待ちしております。（船水）

## 編集・発行

国土交通省 東北地方整備局  
岩木川ダム統管理事務所

〒036-1422  
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平  
字寒沢138-2  
TEL 0172-85-3035  
FAX 0172-85-3061

岩木川ダム統管理事務所  
ホームページアドレス  
<http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

